

雑がみさまを探せ！事例集

—— 行動変容と連携で進める資源化の実践 ——



雑がみを取り巻く
諸課題



行動変容を生む
全国の実践事例



特集：多様な
ステークホルダーとの連携事例



昨年夏から、全国で社会実験を展開！



全国で広がる 雑がみさまを探せ！

— 行動変容を生み出す社会実験が始まっています —



約**70**の取組

学校・大学・自治体・企業・イベントなど全国で展開

延べ約**20,000**人が参加

子どもから大人まで、楽しく参加しています！



自治体との
連携も
広がって
います。

札幌市



ニュースリリース



名古屋市



ニュースリリース



家庭には、まだ多くの「資源」が眠っています。

「雑がみさまを探せ！」は、大阪大学大学院経済学研究科・松村真宏教授のご協力をいただき、「仕掛学」の考え方を取り入れながら開発した啓発プログラムです。「分別してください」ではなく、「探してみよう」という発想で、市民の気づきと行動変容を促し、家庭に眠る資源をリサイクルへとつなげることを目指しています。

本冊子では、その実践事例をご紹介します。

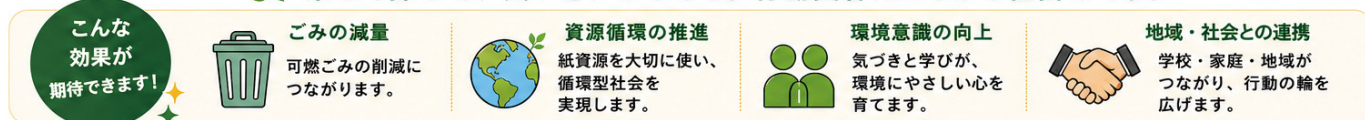
「雑がみさまを探せ！」の コンセプト

「分別してください」ではなく、「探してみよう」へ。

おうちの中にある「雑がみ」を見つけて、気づき、行動することで、未来の地球につながる小さな一歩になります。



楽しく探して、気づき、つなげる。行動変容につながる仕掛けです。



一人ひとりの「探してみよう」が、未来を変える力になります。

雑がみさまの4つのものがたり 気づいた今が、はじめどき



楽しく探して、気づき、つなげる。それが、私たちの未来を守る力になります。

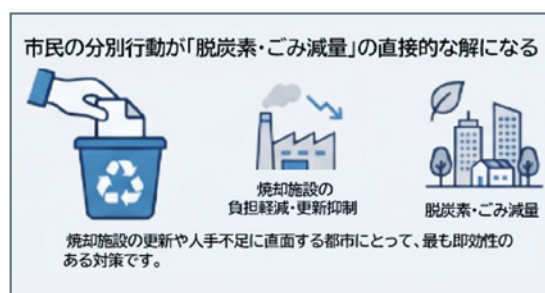
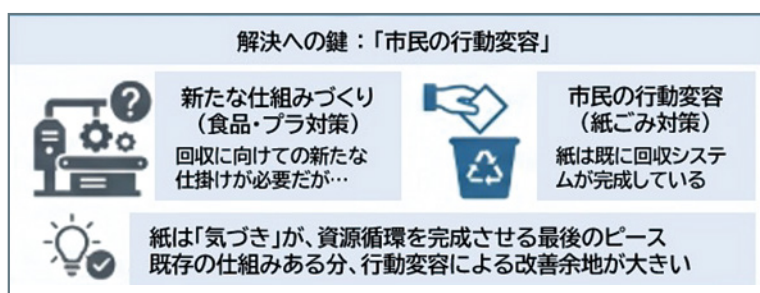
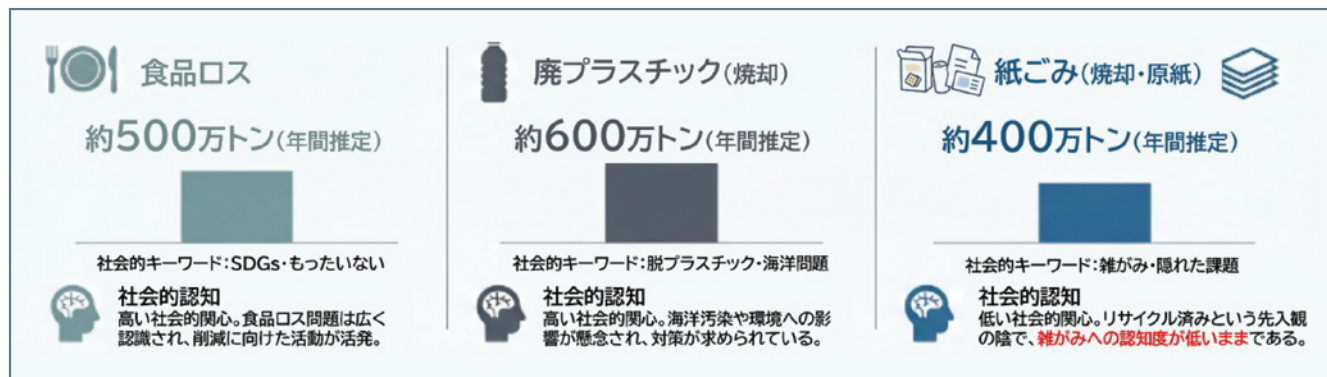
※本冊子では、新聞・雑誌・段ボール・紙バック以外の紙類を、「雑がみ」と表現しています。

名称や対象品目、分別・排出方法は自治体によって異なりますので、お住まいの自治体のルールに従ってください。

なぜ、いま「雑がみ」に着目するのか

小さな「気づき」が、資源循環を変えていく

「燃やすコスト」から「活かす価値」へ



雑がみに求められる行動変容

「雑がみさまを探せ!」は、「分別してください」ではなく、「探してみよう」という発想から生まれた「行動変容」を促す啓発プログラムです。その背景には、紙リサイクルを取り巻く社会的な課題があります。

可燃ごみの組成は排出主体や地域によって異なりますが、多くの可燃ごみでは、「生ごみ」「紙類」「プラスチック類」が主要な構成要素となっています。このうち、生ごみは食品ロス対策、プラスチック類は脱プラスチック対策として社会的な認知が進み、国や自治体、企業などによる様々な取組が展開されています。

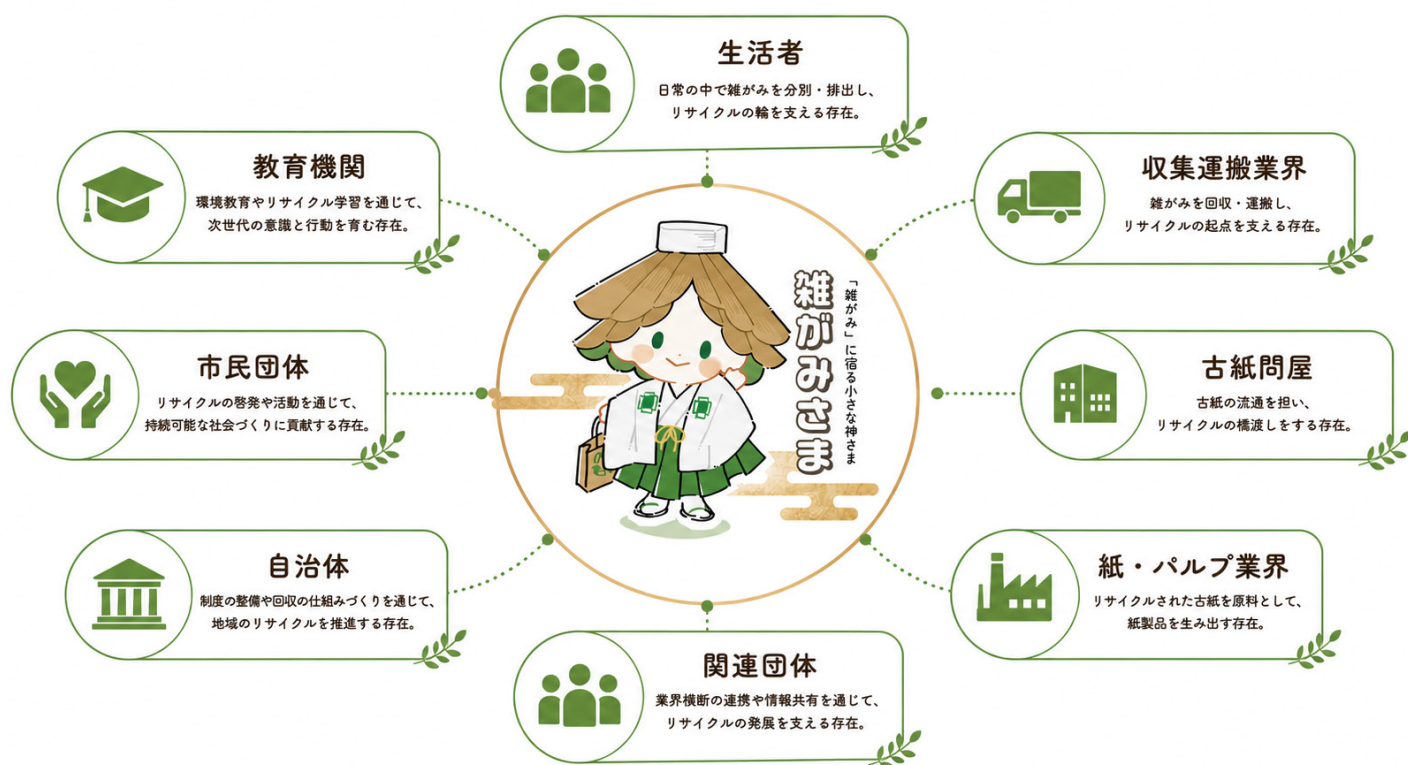
一方、紙類の中に含まれる「雑がみ」は、リサイクル可能な資源であるにもかかわらず、「分別方法が分からない」「面倒」「保管場所がない」といった理由から、今なお多くが可燃ごみとして焼却されています。

紙リサイクルの仕組みは全国で整備されています。これから求められるのは、新たな制度や設備ではなく、市民一人ひとりが「これも資源なんだ」と気づき、「行動変容」につなげることです。

一人ひとりの小さな気づきと「行動変容」の積み重ねが、資源循環の輪をさらに大きく育てていくと考えています。

地域循環共生社会づくり モデルを目指して

つながることで、循環は広がる



「雑がみ」は、未来の循環を支えています

「雑がみさまを探せ！」は、昨年夏から全国で社会実験としてスタートし、多くの皆様のご協力により、各地で新たな実践が生まれています。私たちが目指しているのは、一つひとつの取組を単独で終わらせることではありません。

地域で生まれた実践という「点」をつなぎ、互いに学び合う「線」へ、そして全国へ広がる「面」へと発展させていくことです。本事例集も、今後毎年、全国各地の実践事例や工夫を取りまとめ、新たな気づきや横展開につながる情報を発信してまいります。

一つの地域の取組が、別の地域の新たな挑戦につながり、その積み重ねが資源循環の輪をさらに大きく育てていく——本事例集が、そのきっかけとなることを願っています。

巻末には、「雑がみさまを探せ！」の啓発資材（チラシ・啓発袋など）の「**無料提供申込書**」を添付しております。地域での普及啓発に、ぜひご活用いただければ幸いです。

Towards 2030 & Beyond
中期ロードマップ



自治体むけ
ハンドブック



雑がみさまを探せ! 全国各地で実施

全国70か所以上、
2万人に
啓発を実施

関東甲信越

- 09 荒川区立尾久西小学校 …… P10
- 10 さいたま県庁オープンデー …… P11
- 11 川口市立桜町小学校 …… P11
- 12 Chiba Winter Fes 2026 …… P12
- 13 ラグビーリーグワン
NECグリーンロケッツ東葛
ホストゲーム …… P12
- 14 エコプロ2025 …… P13
- 15 木更津オーガニック
シティフェスティバル …… P14
- 16 加茂市立石川小学校 …… P14

東北

- 02 あおもり環境フェスタ …… P6
- 03 いちのせき産業まつり商工祭… P7
- 04 みやぎ生活協同組合 …… P7
- 05 仙台市エコフェスタ …… P8
- 06 やまがた環境展2025 …… P8
- 07 ふくしまSDG s 未来博 …… P9
- 08 新入社員への古紙研修 …… P9

北海道

- 01 北海道リサイクル
ペーパーフェア… P6

静岡

- 18 富士市立田子浦小学校…P16

中部・近畿

- 17 震災復興いしかわ小中学生
リフレッシュスポーツ祭… P15
- 19 金沢市内保育所・こども園・幼稚園 …… P16
- 20 名古屋市との協定 …… P17
- 21 王子杯争奪少年野球大会 …… P18
- 22 ごみ減量フェスティバル
ガレージセール・イン・OSAKA TOWN… P18
- 23 芦屋市環境フェスタ …… P19

中国・四国

- 24 高松市立高松第一小学校・中学校… P19

九州

- 25 こどもエコクラブとの連携… P20
- 26 北九州エコライフステージ …… P21
- 27 株式会社イワフチ 工場見学 …… P21
- 28 佐賀大学本庄キャンパス …… P22



「雑がみ」に宿る小さな神さま

01

北海道

北海道リサイクルペーパーフェア

「雑がみ」、ちゃんと分別できていますか？

——そんな問いかけから始まったリサイクルペーパーフェア。雑がみ回収促進企画「雑がみさまを探せ！」の袋やチラシを配布し、紙漉き体験も実施しました。多くの来場者が参加し、楽しみながら古紙利用を学ぶ一日に。思わず取り入れたいくなる工夫が詰まった取り組みです。



日時 2025年9月20日(土)
10:00～15:00

場所 旭川市大雪アリーナ

実施内容 「雑がみさまを探せ！」
啓発物の配布、
紙漉き体験コーナー、
古紙分別コーナー



会場では「えっ、これも雑がみ？」と驚く声があちこちで上がり、大人も子どもも夢中に。啓発袋や紙漉き体験をきっかけに、分別が“自分ごと”に変わる瞬間を実感しました。雑がみ回収の広げ方や企画づくりなど、自治体の皆さまと一緒に盛り上げていけたらうれしいです。

02

青森県

あおもり環境フェスタ



協力：株式会社伸和産業

イベントを楽しみながら、
雑がみリサイクルをぐっと身近に

あおもり環境フェスタでは、古紙リサイクルの展示や「雑がみさまを探せ！」の啓発物配布を通じて周知を図りました。2日間で約300名がブースを訪れ、気軽に学びながら関心を高めた取り組みです。



日時 2025年10月18日(土)・
19日(日)

場所 青森産業会館

実施内容 古紙リサイクル啓発展示、
「雑がみさまを探せ！」
啓発物の配布



ブースには幅広い世代の方が立ち寄り、「これも雑がみになるんだ」といった気づきの声が多く聞かれました。展示や啓発物をきっかけに、楽しみながら理解が深まっていく手応えを感じています。環境フェアは関心を行動につなげる絶好の機会。ぜひ各地域でも活用してみてください。

03

岩手県

いちのせき産業まつり商工祭



協力：上山製紙株式会社

持ってきて、もらって、リサイクルを実感

いちのせき産業まつり商工祭では、「雑がみさまを探せ！」の配布に加え、古紙をトイレットロールと交換する回収企画を実施しました。参加しながらメリットを感じられる仕掛けで、古紙利用への関心をぐっと引き寄せた取り組みです。



日時

2025年10月18日（土）・
19日（日）

場所

なのはなプラザ・大町通り

実施
内容ブース出展、
啓発物配布

／ 当日は古紙を持参してくださる方が次々と訪れ、交換の場面で自然と会話が生まれました。「これも持ってきていいの？」といった質問も多く、雑がみへの理解がその場で深まっていく手応えを感じました。参加しやすい仕掛けが、回収の広がりにつながると実感しています。

04

宮城県

みやぎ生活協同組合



協力：株式会社 SK ホールディングス

買い物ついでに、雑がみ回収をもっと身近に

みやぎ生活協同組合の店舗で啓発袋を自由に持ち帰ることができる形で配布し、家庭で集めた雑がみを店内のリサイクルステーションへ持ち込む流れをつくりました。日常の動線を活かしながら、「知る」から「続ける」へとつなげた習慣化の取り組みです。



みやぎ生協3店舗の店頭に啓発袋を設置し、来店者が気軽に手に取れる仕組みを整えました。各家庭で雑がみをストックし、店内のリサイクルステーションへ持参いただくよう案内。身近な店舗を拠点に、回収のきっかけづくりと行動変容を後押しする取り組みです。



／ 買い物の合間に啓発袋を手に取ってくださる方が想像以上に多く、「これなら続けられそう」という声も届きました。店舗という日常の場だからこそ、雑がみ回収がぐっと身近になります。無理なく習慣化につなげる仕掛けとして、ぜひ各地域でも広げていただけたらと思います。

※本取り組みは啓発実験であり、常時設置しているものではありません

05

宮城県

仙台市エコフェスタ



協力：一般社団法人仙台市集団資源回収業者協議会

にぎわいの中で、雑がみの新たな気づきを

パネル展示やDVD上映に加え、「雑がみさまを探せ！」の啓発物配布、古本・古着市を通じて幅広く周知を図りました。全体で約1万人が来場し、ブースにも200名以上が立ち寄り、埋もれがちな雑がみを“見つける”きっかけを生んだ取り組みです。



日時 2025年11月9日（日）
10:00～15:00

場所 勾当台公園

実施内容 啓発パネル展示、
「雑がみさまを探せ！」
啓発物の配布、
古本・古着市



／ 会場は終日多くの来場者でにぎわい、古本・古着市のついでに立ち寄る方も多く見られました。「これも雑がみになるの？」といった気づきの声が広がり、埋もれていた資源に目を向けるきっかけに。楽しさの中で自然と学びが生まれ、回収につながる手応えを感じています。

06

山形県

やまがた環境展 2025



協力：山形資源株式会社

来場者でにぎわう会場で、雑がみをもっと身近な存在に

やまがた環境展 2025 では、「雑がみさまを探せ！」の啓発袋やチラシ配布に加え、かえっこバザールでも子どもたちに向けて展開しました。パネル展示とあわせて幅広くアプローチし、多くの参加者に古紙利用への関心を自然に広げた取り組みです。



日時 2025年10月18日（土）・
19日（日）

場所 山形国際交流プラザ
「山形ビッグウイング」

実施内容 パネル展示、かえっこバザール
(子ども向けリユース会)
での啓発袋配布



／ 会場は多くの来場者でにぎわい、ブースには家族連れを中心に幅広い世代が立ち寄りました。かえっこバザールをきっかけに啓発袋を手にする子どもたちの姿も多く、「これも集められるんだ」といった気づきが広がりました。楽しさを入口に、回収につながる動きを実感できました。

07

福島県

ふくしま SDGs 未来博



協力：株式会社こんの

多彩な出展が集まる中で、 雑がみへの気づきをプラス

ふくしま SDGs 未来博では、「雑がみさまを探せ！」の配布と分別パネル展示を通じて、紙リサイクルの流れをわかりやすく紹介しました。2日間で多くの来場者がブースに立ち寄り、分別への理解を自然に深めた取り組みです。



日時 2025年9月20日（土）・
21日（日）

場所 ビッグパレットふくしま

実施
内容 ブース出展、
啓発物配布、
分別パネルの展示、
古紙回収



会場全体がにぎわう中で、私たちのブースにも途切れなく来場があり、パネルを見ながら熱心に質問される姿が印象的でした。対話を重ねる中で理解が深まり、「分けてみよう」という前向きな反応を直接感じることができました。基礎的な情報発信の大切さを改めて実感しています。

08

福島県

新入社員への古紙研修



協力：いわき大王製紙株式会社

日々の業務につながる一步を、研修の中から

新入社員向けの古紙研修では、「雑がみさまを探せ！」を活用し、身近な紙が資源であることを伝えました。働き始めのタイミングで意識づけを行うことで、分別の目的や雑がみへの認識を深めた取り組みです。



日時 2026年4月3日（金）

場所 いわき大王製紙株式会社

実施
内容 新入社員への古紙教育とし
て、啓発物を活用



研修では新入社員が熱心に耳を傾け、「これまで意識していなかった」という声も多く聞かれました。具体的な事例を交えて説明することで、分別の意味や雑がみが資源であることへの理解が深まっていく様子を実感しています。早い段階での意識づけの重要性を改めて感じた取り組みでした。

荒川区立尾久西小学校

家庭の中にある“見過ごされがちな資源”に
目を向けるきっかけづくり

尾久西小学校では、出前授業で基礎を学んだうえで、夏休み前に啓発袋とチラシを配布し、休み明けに回収を実施しました。学びと実践をつなぐ流れを通じて、雑がみへの理解を深めた取り組みです。



日時 2025年9月4日（木）

場所 荒川区立尾久西小学校

実施内容 夏休み期間中、家庭で発生する雑がみを集め、新学期に回収



FEATURE POINT

出前授業による事前学習と夏休み期間中の家庭での回収体験を組み合わせ、学びと実践を一体化し、子ども達の行動変容を促した点が特徴です。体験を通じて分別の意義を実感できる機会となり、継続的な意識づけにもつながりました。加えて、区の広報掲載により活動の認知が広がり、地域への波及効果も生まれています。



荒川区ケーブルテレビの取材



出前授業による事前学習



／ 出前授業で学んだ内容を、夏休み中に各家庭で実践していただけたことで、回収時には子どもたちが自信をもって雑がみを持ち寄る姿が印象的でした。中身も丁寧に分別されており、理解がしっかり行動につながっていると実感しています。こうした体験が、日常の中での資源意識の定着につながることを期待しています。



学校での回収の様子
（荒川区公式チャンネル 8:16～）



協力：株式会社大久保

10

埼玉県

さいたま県庁オープンデー



協力：株式会社ブシュー

遊びながら学べる仕掛けで、
雑がみをもっと身近に

さいたま県庁オープンデーでは、射的形式の分別ゲームや再生はがきづくり体験を通じて、楽しみながら理解を深められる場を展開しました。啓発資材の配布とあわせて、多くの来場者に古紙利用の大切さを伝えた取り組みです。



日時 2025年11月14日（金）
10:00～16:00

場所 埼玉県庁

実施内容 雑がみ分別ゲーム(射的)、「雑がみさまを探せ!」の啓発資材(啓発袋、チラシなど)の配布、使い終わった紙から再生はがきを作る体験コーナー



／ 当日は400名以上の方がブースを訪れ、分別ゲームには行列ができるほどの盛況ぶりでした。私たちが想像していた以上に多くの方が楽しみながら参加し、「家でも分けてみる」といった声を直接聞くことができました。体験を通じて、雑がみ回収への行動につながる手応えを感じています。

11

埼玉県

川口市立桜町小学校



協力：鶴見製紙株式会社

自分たちで集めた雑がみが、
どう生まれ変わるのかを“体感”

桜町小学校では事前に啓発袋とチラシを配布し、当日は持参した雑がみをバルパーコンベアへ投入。そのまま工場見学へとつなげ、リサイクルの流れを目で見て学ぶ機会をつくりました。行動と学びが結びつく体験型の取り組みです。



日時 2025年12月10日（水）

場所 鶴見製紙株式会社
川口工場

対象 川口市立桜町小学校3年生

実施内容 事前に啓発袋を配布し、工場見学に持参。コンベアに投入し、リサイクルの流れを体験



／ 当日は子どもたちが自分で集めた雑がみを手に、バルパーへ投入する場面で大きな歓声が上がりました。実際にリサイクルの工程を目の当たりにすることで、「集める意味」をしっかりと伝えられたと感じています。体験を通じて、日々の分別行動につながる手応えを得られました。



学生とともに、雑がみ分別をもっと楽しく

千葉大学環境 ISO 学生委員会が主催する Chiba Winter Fes 2026 にブース出展し、射的形式の分別ゲームを実施しました。「雑がみさまを探せ！」の啓発袋配布とあわせ、家族連れを中心に参加が広がり、分別への関心を引き出した取り組みです。



日時	2026年2月15日(日)
場所	千葉大学西千葉キャンパス けやき会館
実施内容	ブース出展、 古紙分別ゲーム、 啓発物配布



／ 今回は学生と一緒に企画段階から取り組み、当日も一体となって運営しました。来場者がゲームに挑戦する中で、学生が分別のポイントを丁寧に伝える場面が多く見られ、理解が深まっていく様子を実感しています。世代を超えた連携が、啓発の広がりにつながる手応えを得ました。

ラグビーリーグワン NEC グリーンロケッツ東葛ホストゲーム



協力：株式会社斎藤英次商店

スタジアムの高揚感の中で、分別をぐっと身近に

NEC グリーンロケッツ東葛のホストゲームの試合開始前に、射的で選んだ紙をその場で仕分ける体験型ゲームを展開しました。「雑がみさまを探せ！」の啓発袋を配布し、家族連れを中心に楽しみながら分別意識を高めた取り組みです。



日時	2026年3月28日(土)
場所	柏の葉公園総合競技場
実施内容	ブース出展、 古紙分別ゲーム、 啓発物配布



／ 試合開始前に多くの来場者が立ち寄り、ブースは終始にぎやかな雰囲気でした。私たちが用意したゲームに親子で挑戦する姿が多く見られ、分別について自然と会話が広がっていききました。こうした場を通じて、雑がみ回収をより身近に感じてもらえる手応えを得ています。

産学連携で、雑がみ分別に新たな視点を

エコプロ 2025 では、跡見学園女子大学と連携し、「雑がみさまを探せ！」の配布とあわせて、AI アプリ「ECOPON（エコボン）」※を活用した分別方法やその意義を発信しました。専門的な知見と新しいツールを通じて理解を深めた取り組みです。



日時 2025 年 12 月 10 日（水）
～ 12 日（金）

場所 東京ビッグサイト

実施内容 跡見学園女子大学の安藤教授のゼミと協働でブースを出展



FEATURE POINT

大学との連携を軸に、教育と実践を結びつけた点が本取り組みのポイントです。ゼミの学生と協働し、来場者へ雑がみ分別の手法や意義を直接発信。さらに AI アプリも活用することで、学びと技術を掛け合わせた新しい啓発の形を提示しました。次世代の担い手とともに進める啓発のモデルケースです。



エコプロ2025の様子



大学と連携し、学生とともにブース運営を行いました。来場者への説明も学生が主体的に担い、対話を通じて理解が深まっていく様子を実感しています。さらに AI アプリを取り入れることで、分別のイメージをより具体的に伝えることができました。新しい啓発の手応えを感じています。



協力：跡見学園女子大学

※ ECOPON（エコボン）は跡見学園女子大学・安藤教授らが開発した雑がみ分別を支援する AI アプリケーションです。

15

千葉県

木更津オーガニックシティフェスティバル



協力：株式会社佐久間

来場者との対話を通じて、雑がみ分別をより身近に

木更津オーガニックシティフェスティバルでは、「雑がみさまを探せ！」の配布に加え、分別ゲームを通じてリサイクルの流れを紹介しました。約 350 名が参加し、理解と関心を引き出した実践的な取り組みです。



日時 2025 年 11 月 3 日（月）

場所 潮浜公園

実施
内容

ブース出展、
分別ゲーム、
啓発物配布



／ ブースには多くの方が立ち寄り、分別ゲームをきっかけに自然と会話が広がりました。説明を重ねる中で、「知らなかった」「やってみる」といった前向きな反応を直接感じることができました。来場者とのやり取りを通じて、雑がみ回収への意識づけにつながる手応えを得ています。

16

新潟県

加茂市立石川小学校



協力：株式会社西國商店

学校と地域がつながり、回収の輪を広げる取り組み

石川小学校では年 3 回の啓発袋配布にあわせ、家庭で集めた雑がみを拠点回収で受け入れました。市と連携し、ドライブスルー方式を導入することで参加しやすさも向上。地域ぐるみで取り組む仕組みづくりにつながった事例です。

日時 2025 年 7 月・11 月、
2026 年 3 月

場所 加茂市立石川小学校

実施
内容

年 3 回にわたって啓発袋を
配布、回収コンテナを利用
し拠点回収を実施



／ 回収された雑がみを確認すると、異物の混入がほとんどなく、分別がしっかり行き届いていることに驚きました。事前の周知や継続的な取り組みの積み重ねが、着実に行動へとつながっていると実感しています。意識の高まりを現場で感じられたことが大きな成果でした。

震災復興いしかわ小中学生リフレッシュスポーツ祭

スポーツを通じて集まる場で、
紙リサイクルの大切さを伝える

震災復興いしかわ小中学生リフレッシュスポーツ祭では、運営本部にPRブースを設け、大学生が来場者に寄り添いながら雑がみ分別を案内しました。スポーツと連携し、雑がみへの関心を高めることができた取り組みです。



日時 2025年11月9日(日)

場所 能登歴史公園(国分寺地区) 芝生広場

実施内容 地域スポーツイベントと連携し、雑がみの啓発を実施

FEATURE POINT

地域のスポーツイベントという異なる分野と連携し、雑がみ啓発を実施した点が本事例の特徴です。多くの来場者が集う機会を活かし、大学生が主体となって分別の重要性を発信。世代や関心領域を越え、連携して働きかけることで、これまでにない啓発の広がりを生み出しています。



スポーツイベントに来場された方々に、自然な形で雑がみの話題を届けられたことを実感しています。大学生が積極的に声をかけることで、子どもから保護者まで関心を持って話を聞いていただけました。スポーツイベントという非日常の場で伝えることで、新たな気づきにつながる手ごたえを感じています。



協力：金沢文化スポーツコミッション



夏休みの取り組みを、次の学びへ

田子浦小学校では夏休み前に啓発袋とチラシを配布し、休み中に集めた雑がみを登校時に校門入口で回収しました。出前授業と結果報告会を組み合わせることで、分別からリサイクルまでの流れを実感。体験を通じて、子どもたちの習慣づくりにつなげた取り組みです。



日時 2025年8月27日（水）

場所 富士市立田子浦小学校

実施内容 夏休み期間中、家庭で発生する雑がみを集め、新学期に回収



夏休み明け、校門入口には次々と雑がみの入った袋が集まり、子どもたちの活動の広がりを実感しました。事前学習で得た知識が行動に結びつき、「こんなに集まったよ」と嬉しそうに見せてくれる姿も印象的でした。回収から結果報告まで一連の体験ができたことで、分別への意識づけにつながったと感じています。



日常の登園の中で、家庭と園をつなぐ形で雑がみ分別を促進

金沢市内の保育所・こども園・幼稚園で啓発資材を配布し、家庭で集めた雑がみを持ち寄る仕組みを展開。日常の中で無理なく取り組める形にすることで、分別を身近に感じてもらうきっかけづくりにつながりました。



日時 2026年1月～2月

場所 金沢市内の保育所・こども園・幼稚園 15か所

実施内容 「雑がみさまを探せ！」啓発物の配布、回収ボックスでの回収



登園時に保護者の方と一緒に雑がみを持ってきてくれる姿が見られ、子どもたちも楽しみながら参加している様子が印象的でした。「これは出せるかな？」と親子で話しながら取り組むことで、自然と分別への意識が高まっていると感じています。園での取り組みが家庭にも広がっていると感じます。

名古屋市及び中部製紙原料商工組合と雑がみ回収促進に資する協定締結 紙製容器包装・雑がみの分別及び回収の促進に資する啓発活動に関する協定

行政・業界団体と連携し、 紙資源循環のさらなる推進に向けた基盤を構築

名古屋市・中部製紙原料商工組合と当センターの3者による協定締結を通じて、それぞれの役割を活かした啓発活動を展開し、市民の行動変容を後押しします。継続的な連携のもと、雑がみ分別の定着と資源循環の拡大を目指す取り組みです。



日時 2026年3月26日（木）
場所 名古屋市
実施内容 紙製容器包装・雑がみの分別及び回収の促進のための協定締結



FEATURE POINT

名古屋市および中部製紙原料商工組合との協定締結により、パートナーシップを基盤とした雑がみ分別・回収促進の体制を構築した点が特徴です。本協定を基に単なる分別にとどまらず、市民参加型の啓発を通じた行動変容を促す仕組みづくりを推進していきます。当センターでは、紙リサイクルを起点に地域の資源循環と環境意識の向上を図る「地域循環共生社会づくりモデル」の構築を目指しており、本協定はその具体的な地域実践の一つです。



VOICE

／ 本協定の締結により、行政や商工組合と同じ方向を向きながら取り組みを進められる体制が整いました。現場に根ざした啓発を積み重ねることで、市民の皆さまに雑がみをより身近な資源として捉えていただける手応えを感じています。今後も連携を活かし、行動につながる働きかけを広げていきたいと考えています。

「紙製容器包装・雑がみの分別及び回収の促進に資する啓発活動に関する協定」を
名古屋市・中部製紙原料商工組合・古紙再生促進センター中部地区委員会との3者で協定締結

21

愛知県

王子杯争奪少年野球大会



協力：王子硬式野球部
(第96回都市対抗野球大会 優勝)

スポーツの熱気とともに、 雑がみリサイクルを身近に

王子杯争奪少年野球大会の開会式で、参加チームに向けて啓発を実施しました。身の回りの紙が資源になることを伝え、啓発袋を配布。子どもたちの活動の場から、家庭へと広がるきっかけをつくった取り組みです。



日時 2025年12月13日(土)

場所 春日井市民球場

実施内容 少年野球大会にて「雑がみさまを探せ！」啓発物の配布、分別の呼びかけ



／ 開会式の活気の中で、選手たちが真剣に耳を傾けてくれたのが印象的でした。啓発袋を手にした子どもたちから「家で集めてみる」といった声もあり、スポーツの場から家庭へ広がる手応えを感じています。身近な場面を活かすことで、自然に行動につながると実感しました。

22

大阪府

大阪市環境局主催 ごみ減量フェスティバル ガレージセール・イン・OSAKA TOWN



協力：
大阪ごみ減量推進会議
古紙流通安定協会

にぎやかな会場で、楽しみながら “ごみを減らす”を実感

ガレージセール・イン・OSAKA TOWNでは、分別パネルやクイズ、「雑がみさまを探せ！」の配布に加え、「私のごみ減らし宣言」を募集しました。約300名がブースに立ち寄り、雑がみをきっかけに行動につなげた取り組みです。



日時 2025年10月11日(土)

場所 長居公園

実施内容 環境学習ブース出展、古紙分別パネル展示、古紙分別クイズ



／ 当日は多くの来場者が足を止め、クイズやパネルをきっかけに自然と会話が生まれました。「これならできそう」とその場で宣言を書いてくださる方も多く、意識が行動へ変わる瞬間を実感しています。楽しさと学びを組み合わせることで、雑がみ回収の広がりにつながる手応えを得ました。



行政との協働で、分別の一步をより確かなものに

芦屋市環境フェスタでは、環境施設課と連携し、射的で選んだ紙をその場で仕分ける体験型ゲームを実施しました。「雑がみさまを探せ！」の配布とあわせて、参加者が楽しみながら分別のポイントをつかんだ取り組みです。



日時 2026年2月14日（土）

場所 芦屋市市民センター
本館3階 多目的ホール

実施内容
ブース出展、
古紙分別ゲーム、
啓発物配布



／ 今回は市の担当課と一緒に取り組んだことで、来場者にも安心感を持って参加いただけたと感じています。ゲームをきっかけに分別の話題が自然と広がり、「意外と知らなかった」という反応も多くありました。地域と連携することで、啓発の届け方が変わることを実感しています。



学びを“実践”に変えた、生徒主体の取り組み

高松第一小・中学校では、事前の出前授業や会社見学で得た知識をもとに、啓発から回収までを自ら実施しました。2日間で約60kgを回収し、異物混入もなし。理解を行動につなげ、分別の大切さを体現した取り組みです。



日時 2025年11月17日（月）・
18日（火）

場所 高松市立高松第一小学校・
中学校

実施内容
事前に啓発チラシ・啓発袋
を配布し、生徒が集めた雑
がみを回収



／ 今回は生徒が主体となり、準備から回収まで一連の流れを自分たちで担いました。事前の学習がしっかり活かされ、分別も非常に丁寧で、異物混入がなかった点に大きな手応えを感じています。自ら考え動くことで、雑がみ回収の意識がしっかり根づいたと実感しています。

こどもエコクラブとの連携

こどもエコクラブとの連携を軸に、子どもたちが
主役となる雑がみ啓発のモデル事業を展開

保育施設や地域団体と協働し、分別・回収と啓発を一体的に実施しました。身近なごみの中から資源を見つけ出す体験を通じて、実践につながる理解を育んだ取り組みです。



日時 2025 年 10 月～
2026 年 2 月

場所 佐賀県内学校・保育園・
地域団体 他

実施
内容 こどもエコクラブの活動の
一環として、雑がみの啓発
を実施



FEATURE POINT

こどもエコクラブという全国的なネットワークとの連携により、「雑がみさまを探せ！」による行動変容を社会へ広く波及させる点が本事例のポイントです。日常生活の中で継続的に実践される活動基盤と結びつけることで、雑がみ分別を一過性の取り組みにとどめず、地域や家庭へと広げていく仕組みを構築。社会全体への浸透を見据えた実践事例です。



VOICE

活動を通じて、子どもたちが自分たちの暮らしの中にある「雑がみ」に気づき、楽しみながら集めてくれる姿がとても印象的でした。その気づきが家庭や地域にも広がり、会話や行動につながっている手応えを感じています。こうした積み重ねが、日常の中での分別意識の定着につながっていくと考えています。



協力：鍋島保育園、ボーイスカウト佐賀第3団ビーバー隊・カブ隊 他

26

北九州エコライフステージ

福岡県

遊びの中で、分別のコツをしっかりキャッチ

北九州エコライフステージでは、射的で選んだ紙をそのまま仕分ける体験型ゲームを展開しました。「雑がみさまを探せ！」の配布とあわせて、家族連れを中心に2日間で約500名が参加。楽しさを入り口に、正しい分別へと導いた取り組みです。



日時 2025年11月8日(土)・9日(日)

場所 北九州市役所周辺

実施内容 ブース出展、古紙分別ゲーム、啓発物配布



2日間を通して家族連れの来場が多く、射的に挑戦する子どもたちの周りで自然と分別の話題が広がっていきましました。実際に手を動かして分けることで理解が深まり、「家でもやってみたい」といった声も聞くことができました。楽しさをきっかけに、分別行動へつながる確かな実感を得ています。

27

株式会社イワフチ 工場見学



協力：株式会社イワフチ

佐賀県

現場を“見て”、雑がみの価値を実感

株式会社イワフチの工場見学では、「雑がみさまを探せ！」の啓発資材を配布し、実際のリサイクル工程を間近で体験してもらいました。身近な紙が資源へと変わる流れを理解し、分別への意識を高めた取り組みです。



日時 2025年10月29日(水)

場所 株式会社イワフチ

対象 鹿島市立浜小学校3・4年生

実施内容 工場見学、雑がみの周知・啓発、リサイクルの流れを学習



工場見学では、目の前で古紙が処理されていく様子に驚きの声が上がリ、私たちも手応えを感じました。啓発資材とあわせて伝えることで、「身近な紙も資源になる」という理解がより深まったと感じています。現場を体験してもらうことの効果を実感できた取り組みでした。

佐賀大学本庄キャンパス

学生が行き交うキャンパスの中心で、
雑がみへの関心を引き出す場を創出

図書館前に設けた啓発ブースでは、パネル展示やピブス着用によって視認性を高め、来場者に対して対面で分別方法を丁寧に解説しました。日常に近い場所での働きかけにより、家庭での実践につなげるきっかけづくりとなった取り組みです。



日時 2025年11月24日(月)
～26日(水)

場所 佐賀大学本庄キャンパス

実施内容 学生向け啓発イベントの一環として、雑がみの啓発を実施

FEATURE POINT

民間企業と連携し、大学構内にて次世代を担う学生に直接働きかけた点が本事例のポイントです。キャンパスでの対面啓発により、雑がみを初めて知る学生にも分別の重要性を伝え、行動のきっかけを創出しました。異なる立場が協働することで、若い世代への効果的なアプローチを実現しました。



／ 大学の図書館前という多くの学生が行き交う場所
VOICE 〵 で実施したことで、足を止めて話を聞いてくれる
方が想像以上に多く、手応えを感じました。「初めて知った」という声も多く、対面で丁寧に説明することで理解が深まっていく様子が印象的でした。日常の延長線上で分別のきっかけを届けられた取り組みになったと感じています。



協力：株式会社 Hibee

ざっ 雑がみさまを

さが 探せ!

啓発資材
無料提供のご案内



「雑がみ」に宿る小さな神さま

紙リサイクルのさらなる推進に向けて、家庭や事業所のいずれから排出される「雑がみ」の分別・回収の取り組みを支援するため、啓発資材を **無料で提供** いたします。
環境イベントや啓発活動など、様々な場面でご活用ください。



**無料
で提供**

☑啓発チラシ

(A4・両面カラー)

☑啓発袋

※ご希望する数量をお申し込みください。ただし、数量に限りがあるため調整させていただく場合がございます。
※送料は無料です。



啓発チラシ



啓発袋



**貸出
も対応**

イベント等で活用いただける資材の貸し出しについても、ご相談に応じます。

例

のぼり旗、ロールアップバナー
ビブス、テーブルクロス
バルーンPOP、パネル (A1・A2)

※数量に限りがあるため調整させていただく場合がございます。
※送料は無料です。



のぼり旗



バルーンPOP



ロールアップ
バナー



パネル
(A1・A2)



テーブル
クロス



ビブス

お申し込み方法



ご希望の方は、右のQRコードよりお申し込みフォームにアクセスしてください。

申込フォーム入力項目

- ①団体名・企業名 ②ご担当者名 ③連絡先
④啓発チラシ・袋の数量 ⑤啓発資材の数量



QRコードから
お申し込み

※FAXでお申し込みを希望の方は、次項にFAX申込用紙がございますのでご活用ください。



公益財団法人
古紙再生促進センター

ざっ 雑がみさまをさが探せ!

啓発資材 FAX申込書

雑がみさまを探せ!の啓発資材をご希望の際は、この用紙にご記入しFAX
いただくか、下記QRコードより申込ください。

FAX番号：03-3537-6823

社名・団体名	
ご担当者名	
お届け先	〒
電話番号	
FAX番号	
希望する資材	
送付期限・備考	

※希望する資材は部数を合わせて記載して下さい。(例) 啓発袋○枚



QRコードからのお
申し込みはこちら

【お問い合わせ先】
公益財団法人古紙再生促進センター
TEL：03-3537-6822

雑がみさまを探せ！の啓発にご協力いただいた皆様

雑がみさまを探せ！啓発協力先

No	啓発イベント・協力内容	協力会社
1	芦屋市環境フェスタ	芦屋市環境施設課
2	エコプロ 2025	跡見学園女子大学
3	練馬区立春日町リサイクルセンター	跡見学園女子大学
4	金沢市内保育園・こども園・幼稚園	石川県再生資源事業協同組合
5	石川テレビエコモーションキャンペーンワークショップイベント	石川テレビ放送株式会社
6	富士市立田子浦小学校	株式会社市川商店
7	工場見学・新入社員研修	いわき大王製紙株式会社
8	工場見学	株式会社イワフチ
9	地域・関係者説明	株式会社江口佐五七商店
10	みやぎ生活協同組合	株式会社 SK ホールディングス
11	地域・関係者説明	王子マテリア株式会社
12	荒川区立第一日暮里小学校	株式会社大久保
13	荒川区立第二日暮里小学校	株式会社大久保
14	荒川区立ひぐらし小学校	株式会社大久保
15	荒川区立尾久宮前小学校	株式会社大久保
16	荒川区立尾久西小学校	株式会社大久保
17	ごみ減量フェスティバル ガレージセール・イン・OSAKA TOWN	大阪ごみ減量推進会議、古紙流通安定協会
18	朝霞市立朝霞第二小学校	片山商事株式会社
19	朝霞市立朝霞第四小学校	片山商事株式会社
20	震災復興いしかわ小中学生リフレッシュスポーツ祭	金沢文化スポーツコミッション
21	鹿沼エコライフフェア	鹿沼資源回収事業協同組合
22	いちのせき産業まつり商工祭	上山製紙株式会社
23	大阪市内小学校	近畿産業株式会社
24	こどもエコクラブ全国フェスティバル	こどもエコクラブ全国事務局
25	鍋島保育園	こどもエコクラブ全国事務局
26	ボーイスカウト佐賀第3団ビーバー隊・カブ隊	こどもエコクラブ全国事務局
27	佐賀市立北川副小学校	こどもエコクラブ全国事務局
28	神埼市立西郷保育園	こどもエコクラブ全国事務局
29	ふくしま SDG s未来博	株式会社こんの
30	ラグビーリーグワン NEC グリーンロケット東葛ホストゲーム	株式会社斎藤英次商店
31	木更津オーガニックシティフェスティバル	株式会社佐久間
32	あおもり環境フェア	株式会社伸和産業
33	富士市立天間小学校	株式会社鈴剛
34	富士市立丘小学校	株式会社鈴剛
35	地域・関係者説明	全国製紙原料商工組合連合会
36	仙台市エコフェスタ	一般社団法人仙台市 集団資源回収業者協議会
37	地域・関係者説明	大王製紙株式会社

No	啓発イベント・協力内容	協力会社
38	台東区立蔵前小学校	台東リサイクル事業協同組合
39	Chiba Winter Fes 2026	千葉大学環境 ISO 学生委員会
40	川口市市産品フェア	鶴見製紙株式会社
41	彩の国ビジネスアリーナ	鶴見製紙株式会社
42	川口市立桜町小学校	鶴見製紙株式会社
43	くらしフェスタ東京 交流フェスタ 2025	東京都リサイクル事業協会
44	名古屋市との協定締結	名古屋市、 中部製紙原料商工組合
45	加茂市立石川小学校	株式会社西國商店
46	地域・関係者説明	日本製紙株式会社
47	地域・関係者説明	日本再生資源事業 協同組合連合会
48	佐賀大学本庄キャンパス	株式会社 Hibe
49	さいたま県庁オープンデー	株式会社ブシュー
50	第2回自然共生のみらい会議	株式会社帆船商店
51	地域・関係者説明	北越コーポレーション株式会社
52	地域・関係者説明	株式会社本田春荘商店
53	地域・関係者説明	丸三製紙株式会社
54	高松市立高松第一小学校・中学校	丸八商工株式会社
55	八代市立麦島小学校	株式会社南
56	やまがた環境展 2025	山形資源株式会社
57	地域・関係者説明	レンゴー株式会社
58	リサイクルペーパーフェア	-
59	台東区こども環境委員会	-
60	イオンモール上尾	-
61	エコメッセちば	-
62	SAITAMA こども環境フェスティバル	-
63	静岡県工業技術研究所フェア	-
64	豊田市緑化センター 環境フェア	-
65	環境デーなごや	-
66	王子杯争奪少年野球大会	王子硬式野球部
67	いしかわ環境フェア 2025	-
68	北九州エコライフステージ	-
69	地域・関係者説明	公益財団法人古紙再生促進 センター各地区委員会

※協力会社は五十音順に掲載

※協力会社の記載がないイベントはセンター主催で実施

皆様のご協力のおかげで、
たくさんの啓発を実施することができました。
今後も全国で啓発活動を広げて参りますので
ご理解・ご協力をお願い致します。





古紙再生促進センターは紙リサイクルが担うSDGsの6つの目標を設定しました



公益財団法人 古紙再生促進センター